

第5章 計画の推進について

1. 計画の推進体制

地域福祉の推進にあたっては、福祉分野のみではなく、保健、教育、人権、産業、防災・防犯、都市計画など様々な分野の連携・協力が必要となります。そのため、計画の進捗状況や課題については庁内担当者会議において共有し、関係部署で連携をとりながら計画の推進を図ります。また、福祉分野の個別計画の見直し時には、本計画との整合性を図りつつ、各計画の施策を推進します。

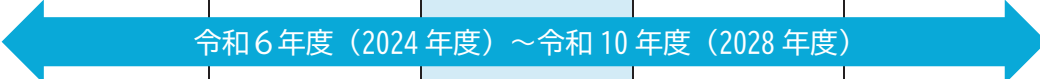
市社協については、ワーキングチーム（WAP）において職員同士が計画の進捗状況や課題を共有し、計画を推進していきます。

なお、大和郡山市の地域福祉を推進するにあたっては、市と市社協がそれぞれの役割を認識しながら、連携・協力していくことが重要となります。市、市社協の担当者が必要に応じて、庁内担当者会議、社協ワーキングチーム（WAP）に参加し、それぞれの計画の進捗状況や課題を共有しながら連携・協力していきます。

2. 計画の進捗管理

計画期間の中間年には市民代表、各種団体代表、学識経験者等で構成される委員会において中間報告会を開催し、計画の実施状況を報告し、必要に応じて計画の見直しを行います。

また、計画の評価・検証については、基本施策ごとに設定した「めざす大和郡山の姿」にどれだけ近づけたかという視点で、定量的な評価と定性的な評価を踏まえ、多角的に評価します。

	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
計画期間					
進捗管理	庁内担当者会議【各年度】				
	社協ワーキングチーム（WAP）【各年度】				
			中間報告会		